

今年の箱根駅伝は母校の青山学院大学が4連覇を達成した。2009年に33年ぶりとなる出場を果たして以来、欠かさず沿道で応援する。

学生時代は応援団に所属し、正月返上で4年間応援した。「当時は上位に絡むことは一度もなかった。そんなチームが4連覇するなんて最高の幸せ」と目を細める。

陸上競技部の合宿にも顔を出して、エールを送る。2月中旬に宮崎市であった合宿打ち上げでは約120人の出席者を前に、締めあいさつでフ

箱根駅伝で母校・青山学院大学を応援する

かお

竹下 国昭さん



レ、フレ」と野太い声を響かせた。

鹿兒島市古里町出身。

鹿兒島玉龍高校から進学し、卒業後は阪急交通社に入社した。視察や添乗員として欧州だけで50回以上足を運び、常務まで務めた。元ビジネスマン

として、人心掌握にたける原音監督を称賛する。

「監督になる前の中国電力での営業マン時代のリスクマネジメントやスピーチ力を学生にたたき込んでいる。組織のまとめ方が素晴らしい」趣味はスキーのストツ

クに似たボールを使うフルディックウオーキングだ。「あと15年、箱根駅伝の沿道に立ちたい」と月60キロ以上歩く。愛好者に黒砂糖を配るのを楽しみにし、「みんなが喜んでくれることをするのが大好き」と話す。

自宅のある川崎市では廃棄物減量指導員と美化運動推進委員のボランティアを10年以上続ける。

「人を支える生き方が性に合う」と、応援団気質は今も健在だ。3人の子は独立し、妻とき江さん(69)と2人暮らし。71歳。

(畦地文雄)